

Section  
**02**

“K” LINEグループの  
マテリアリティ



## “K” LINEグループのマテリアリティ

### マテリアリティ

当社グループでは、サステナビリティ関連のリスク及び機会を識別し、評価し、及び管理するための過程の一環として、必要に応じてマテリアリティ(サステナビリティ重要課題)の見直しを行っています。当社グループが直近に実施した2022年度の見直しで新たに特定した12項目のマテリアリティは、中期経営計画で事業戦略を実現する強固な事業基盤として打ち出された機能戦略の4本柱である「安全・品質」「環境・技術」「デジタルイノベーション推進」「人材」と、それらの土台としての「経営基盤」

の5分野に分類して整理されています。当社グループにとってのマテリアリティは、中期経営計画に基づいて持続的成長や企業価値向上を果たしつつ、社会課題の解決にも貢献し、企業理念・ビジョンを実現するために取り組むべき重要課題と位置付けられます。

それぞれのマテリアリティについての基本方針、考え方および取り組みにつきましては、この「ESGデータブック」の各テーマに関するページでご説明しています。

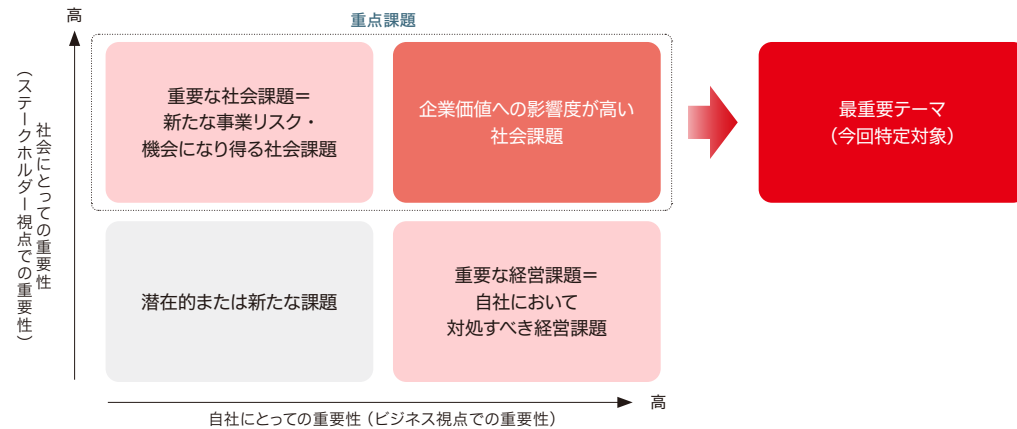
分類	社会課題解決へのアクション=マテリアリティ	関連するSDGs
経営基盤	人権の尊重 <a href="#">▶ P.79</a>	5 ジェンダー平等, 8 持続可能な経済成長, 10 人や国の不平等の削減
	コーポレートガバナンスの強化 <a href="#">▶ P.92</a>	16 公正な裁判と法の支配, 17 パートナーシップ
	コンプライアンスの推進・強化 <a href="#">▶ P.110</a>	16 公正な裁判と法の支配
安全・品質	安全運航の推進 <a href="#">▶ P.75</a>	7 持続可能なエネルギー, 13 気候変動への対応, 14 海洋資源の持続可能な利用
環境・技術	自社の低炭素化・脱炭素化 <a href="#">▶ P.35</a>	7 持続可能なエネルギー, 9 持続可能な産業と革新, 11 持続可能な都市とコミュニティ, 12 持続可能な消費と生産, 13 気候変動への対応, 17 パートナーシップ
	社会の低炭素化・脱炭素化支援 <a href="#">▶ P.36</a>	7 持続可能なエネルギー, 9 持続可能な産業と革新, 11 持続可能な都市とコミュニティ, 13 気候変動への対応, 17 パートナーシップ
	自社からの海洋・大気への環境影響の限りないゼロ化 <a href="#">▶ P.39</a>	3 気候変動への対応, 11 持続可能な都市とコミュニティ, 12 持続可能な消費と生産, 14 海洋資源の持続可能な利用, 15 陸域生態系への持続可能な利用, 17 パートナーシップ
デジタルイノベーション推進	イノベーションの促進 <a href="#">▶ P.14</a>	7 持続可能なエネルギー, 9 持続可能な産業と革新, 11 持続可能な都市とコミュニティ, 12 持続可能な消費と生産, 13 気候変動への対応, 14 海洋資源の持続可能な利用, 15 陸域生態系への持続可能な利用, 17 パートナーシップ
	DX対応の強化 <a href="#">▶ P.113</a>	7 持続可能なエネルギー, 8 持続可能な経済成長, 9 持続可能な産業と革新, 12 持続可能な消費と生産, 13 気候変動への対応, 14 海洋資源の持続可能な利用, 15 陸域生態系への持続可能な利用, 17 パートナーシップ
人材	ダイバーシティ&インクルージョンの促進 <a href="#">▶ P.73</a>	5 ジェンダー平等, 8 持続可能な経済成長, 10 人や国の不平等の削減
	労働環境の整備・健康経営の促進 <a href="#">▶ P.61</a>	3 気候変動への対応, 5 ジェンダー平等, 8 持続可能な経済成長, 10 人や国の不平等の削減
	人材の確保・育成 <a href="#">▶ P.68</a>	5 ジェンダー平等, 8 持続可能な経済成長

“K” LINEグループのマテリアリティ

マテリアリティ特定のプロセス

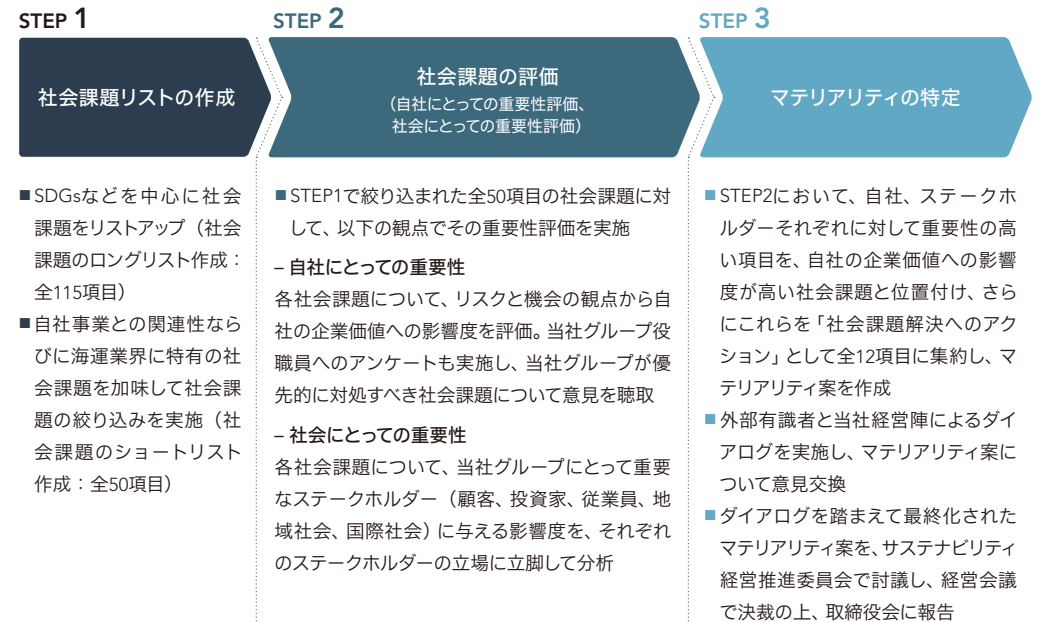
マテリアリティ特定のプロセス

マテリアリティの特定に際しては、ISO26000やOECD多国籍企業行動指針など、主としてCSR（企業の社会的責任）に関連する各種ガイダンスを参考に、SDGsなどで掲げられる社会課題を考慮しつつ、事業戦略との整合性や価値創造の観点なども加味して、「自社にとっての重要性」（ビジネス視点での重要性）と「社会にとっての重要性」（ステークホルダー視点での重要性）という2軸から、マテリアリティの分析・評価を行いました。



マテリアリティ分析のステップ

以下の3つのステップでマテリアリティ分析を行いました。



"K" LINEグループのマテリアリティ

## マテリアリティと企業理念・ビジョン・中期経営計画との関係

当社グループにとってのマテリアリティは、中期経営計画に基づいて企業理念やビジョンを実現し、持続的成長や企業価値向上を果たしつつ、社会課題の解決にも貢献する、いわば当社グループと社会・環境、双方のサステナビリティを両立させるために取り組むべき重要課題、と位置付けられます。

